

## 第1回江南市行政改革推進委員会議事録

日 時 令和6年7月10日（水） 午後2時～午後3時20分

場 所 市役所 3階 第3委員会室

出席者 横山 幸司、朱宮 哲明、青山 尚史、上 聖司、下新原 久美、滝 正直、  
田畑 貴弘、東猴 史紘、松枝 幹根、宮地 友治、三輪 陽子

傍聴者 1名

資 料 次第

資料1	会議の公表及び公開について
資料2	江南市行政改革推進委員会設置要綱
資料3	江南市第二次リノベーションビジョン行動計画の運用について
資料4	江南市第二次リノベーションビジョン行動計画の進捗状況
資料5	江南市第二次リノベーションビジョン《見える行動計画》進捗状況報告
資料6	実施判定対象の取組事項（報告）

### 1 議題（2）江南市第二次リノベーションビジョンの行動計画について

- ・行動計画の運用について
- ・資料3に基づき事務局から説明した。
- ・行動計画の進捗状況、進捗状況報告
- ・資料4及び5に基づき事務局から説明した。

委 員 No20 の Web 会議の促進について、Web 会議の開催件数 877 件とあるが、この中で、介護認定審査会で行われた回数や割合はどれくらいか。また、審査会についても簡単に説明していただきたい。

事務局 介護認定審査会は、要介護度の判定等を行う際に開催している会議である。審査会で Web 会議を利用した件数については、把握していない。

委 員 一宮市の認定審査会において、医師や看護師などの構成メンバーが市役所に来ることなく Web 会議で開催し、リモートで参加している。一宮市のように実施できないか。すべての参加者が自宅又は職場から参加できるのが理想である。今後実施できるよう検討していただきたい。

事務局 改善の余地の有無について、審査会担当課に伝える。

委 員 市役所内での会議においてもオンライン会議が普及したにも関わらず、対面で会議をしている。対面での集まりが避けられない場面もあると認識しているが、全庁的に Web 会議を推進し、効率的な取り組みを進めることが重要である。

委 員 No28 の学童保育所運営業務の民間委託について、現状の学童施設を民間委託するのか、学童施設数を増やす方法として、民間学童を誘致するのかどちらか。

事務局 現状の学童施設の民間委託ではなく、民間委託や公設民営等の方法で学童施設数を増やしていくことを検討する取組である。

- 委員  
事務局 現状の学童保育についても、民間委託をしていく方向なのか。  
学童保育の主な問題点は待機児童であり、希望する保護者がいても受け入れられるスペースや支援員が不足している。この問題に対する解決策の一つとして、民間委託や民営化が検討されている。直営で実施できる部分は直営であるが、民間の協力は一つの適切なツールとして考えていく必要がある。
- 委員 現状は学校の敷地内や学校の近くに設置されているが、民設の場合は別の場所になるため、送迎や保育料の増加など課題が生じる可能性がある。また名古屋などでは民間の塾のような施設も存在し、保護者にとっては選択肢が広がることもあるが、学童の料金が上昇すると負担が大きくなる可能性もある。関係者の意見を十分に聞きながら進めていただきたい。
- 委員 民間委託になると、利用料の違いや公設と異なる保育内容となる。この違いを考慮し、公平性を保ちつつ、保護者が選びやすい学童保育になるように慎重に検討していただきたい。
- 委員 No9 避難行動要支援者の個別避難計画の作成について、民生委員やケアマネージャー、地元町内会などとの連携が重要である。特に、地域の力を借りて計画を進める必要性があり、地域住民とのコミュニケーション不足が計画の遅延につながる可能性があると思うが、その点どのように考えているか。
- 事務局 行動計画では令和6年度調査検討という形で事業を進行しているところではあるので、今の内容について、担当課に伝える。
- 委員 防災部局や福祉部局、自治会などを担当している部局が協力して取り組む必要がある。緊急性が高い課題であるため、全員が協力して進捗を図ることが不可欠である。
- 委員 災害がいつか発生するという認識はあるが、具体的にその規模や影響について市民全体がどの程度理解しているのか。理解することにより地域から防災に関する取組も出てくると思う。様々な災害の可能性を市民に伝える情報発信が重要である。
- 委員 江南市は災害時に液状化が懸念されること、また液状化に対する対策を学んだことがあるが、市民一人ひとりが知識を増やす機会を市からいただけたらありがたい。
- 委員 No4 高齢者見守りサポートの充実について、令和8年度、現行の緊急通報システムの契約を終了して、新しい高齢者見守りサービスに切り替えるということだが、どのようなサービスになるのか。
- 事務局 他自治体で実施している冷蔵庫や電気の稼働状況を監視するセンサーを活用した安否確認サービスについて調査研究している。
- 委員 No4 の取組は家の中のサービスだが、他自治体では、高齢者見守りにおいて、徘徊高齢者の問題に対処するため、AIカメラを活用した実証実験を行っている。また、AIカメラはデータを蓄積することができ、そのデータを分析して政策立案に活用する動きも広がっている。見守りサポートの定義の延長線として併せて調査研究していただきたい。
- 事務局 このような取組の必要性は感じているので、市の中でも検討していきたい。
- 委員 遅延または延期の取組について、資料には具体的な影響について特に触れられていないが、把握はしているのか。

事務局	延期または遅延による影響度合いを把握するという観点では、行えていない状況である。
委員	例えば、学童のニーズは保育園から小学一年生に上がるお子さんを持つ保護者にとって重要である。しかし、そのニーズが3年遅れると、異なる層のニーズが現れ、満たされなかったニーズは残り、不満が生じる可能性もある。このような遅延が引き起こす影響を把握した上で、優先度をつけ、課題に取り組んでいただきたい。
委員	No25 学校給食配膳員の民間委託について、給食センターの新設に伴い、学校の配膳員が給食センターの民間業者になり、市の職員数を削減できるかもしれないが、学校での配膳業務には学校の事情やニーズを理解する必要がある。今後、既存の配膳員を給食センターで雇用し続ける方向性や、完全に民間業者に委託する方針など、情報があれば教えてほしい。
事務局	詳細は把握していない。配膳なども含めて民間委託が行われていくが、学校の状況を理解せずに配膳を行うことは好ましくないため、委託会社と教育委員会で調整していくと考える。

### 議題 (3) 江南市第二次リノベーションビジョン取組事項の実施判定について

#### ・実施判定対象の取組事項（報告）

- ・資料6に基づき事務局から説明した。

委員	目標年度が令和8年度から令和6年度へ2年前倒しで実施できた要因は何か。
事務局	既に導入済の電子申請システムを利用することができたことが主な要因である。
委員	周知はどのようにされているのか。
事務局	市ホームページ、市公式LINEにて周知している。
委員	システム業界は日進月歩の世界であり、玉石混交の状況。過去に優れていたシステムが数年後には陳腐化し、遅れをとることもある。100%完璧なシステムはなく、常に新しいものを追求する必要がある。健全な競争原理の下で、常に新しい技術やサービスを採用するために、競争入札やプロポーザルを活用し、固定観念にとらわれず柔軟に新しいものを導入することが重要。全庁的にこのような指針を統一し、常に調査を行っていただきたい。

## 2 その他

### 今後のスケジュールについて

- ・事務局より今後のスケジュールについて説明した。